

(4) 駐車場規模の設定について

1 駐車場台数確保の必要性和整備の方向性

公共交通機関が未発達な本市において、来庁舎、職員の通勤ともに自家用車の利用がほぼ全体を占めており、自宅が近い場合にのみ徒歩や自転車となっています。

また、5月に行った職員アンケートでは「知覧庁舎、川辺庁舎では駐車場台数が足りない」との回答が多く、来庁者、職員の双方にとって現在の環境に不満、不便を感じていることが明らかになっています。(現在、行っている市民アンケートは集計中ですが、「駐車場が不足している」という回答が散見されます。)

新庁舎における駐車場台数は、来客用、公用車用、職員用の3区分において必要台数を確保し、利用状況にあわせ相互に補完することが効率的で、かつ、現実的であると考えます。

また、駐車場の整備の方向性としては、周辺の景観に配慮して適切に計画することが必要と考えます。

2 区分別駐車場台数

(1) 来客用駐車場

- ①総合案内業務庁舎別来庁者数 (R2. 3. 10~5. 20 実施) 最大来庁者数 60 人/日
- ②出水市視察：来客用 88 台では不足、100 台は必要。
- ③南九州市の人口は3地域に分布しており、出水市とは地域性が異なる。一般来庁者は各庁舎に分散

※①~③から来客用駐車場台数は 90 台 とする。

また、身障者用駐車場は、別途、庁舎隣接（屋根付き）を検討する。

(2) 公用車用駐車場

財政課財産管理係にて配置案を調査 (※R3. 9. 8~9. 14 全課対象)

市公用車数 84 台 (大型車両含む)

その他 (外郭団体所有車両数) 6 台

※ただし、大型車両については、駐車場スペース 2 台分が必要

※管理上、屋根付きまたは 2 階建て立体駐車場を検討する。

上記より公用車用駐車場台数を 90 台 とする。

(3) 職員用駐車場

〈令和 8 年 4 月 1 日時点における新庁舎での勤務職員数案〉

一般職員：275 人 再任用職員：10 人 会計年度任用職員：61 人

外郭団体 (自衛隊分駐所など) 職員：13 人 合計 359 人

※上記の職員の勤務形態から、曜日によっては駐車場台数に増減があるが、多くの曜日はほぼ全員が通勤し、自宅が近い職員のみが徒歩等になると想定される。この場合、仮に職員用を最大数の 7 割程度に制限したとすると、出勤状況によっては職員用に駐車できない職員が発生することが懸念されるが、今後のデジタル化等による働き方や社会状況の変化に伴う出勤率を考慮して最大数の 9 割程度とする。

※上記より職員用駐車場台数は、320 台 とする。

(1) ~ (3) より 新庁舎の駐車場台数 500 台 とする。

3 新庁舎に必要な駐車スペース（H29 検討委員会提示案との比較含む）

	H29 検討委提示案	⇒	今回の案
職員用	350 台	⇒	320 台
公用車用	150 台	⇒	90 台
来客用	300 台	⇒	90 台
合計	800 台	⇒	500 台

※H29 市民検討委員会提示案では、1 台あたりの駐車スペースを 25 m²として試算
（参考）H29 検討委提示案 800 台 × 25 m² = 20,000 m²

〈今回の案〉 500 台 × 25 m² = 約 12,500 m² が必要